

# 別府市図書館・美術館整備構想（概要）

## 1 現状の課題

### ■財政面

- ・公共施設の今後30年にかかる総コストを30%削減する。
- ・資産の保有から活用へと発想を転換、資産が生み出す価値や収益の方策が必要である。

### ■施設

- ・図書館、美術館とも施設の老朽化が進んでいる。
- ・一方で既存の施設は最大限活用する。

### ■人材/サービス

- ・専門性を持つ人材を適切に配置する必要がある。
- ・イベントを行うためのスペースを十分確保する必要がある。

### ■市民の声

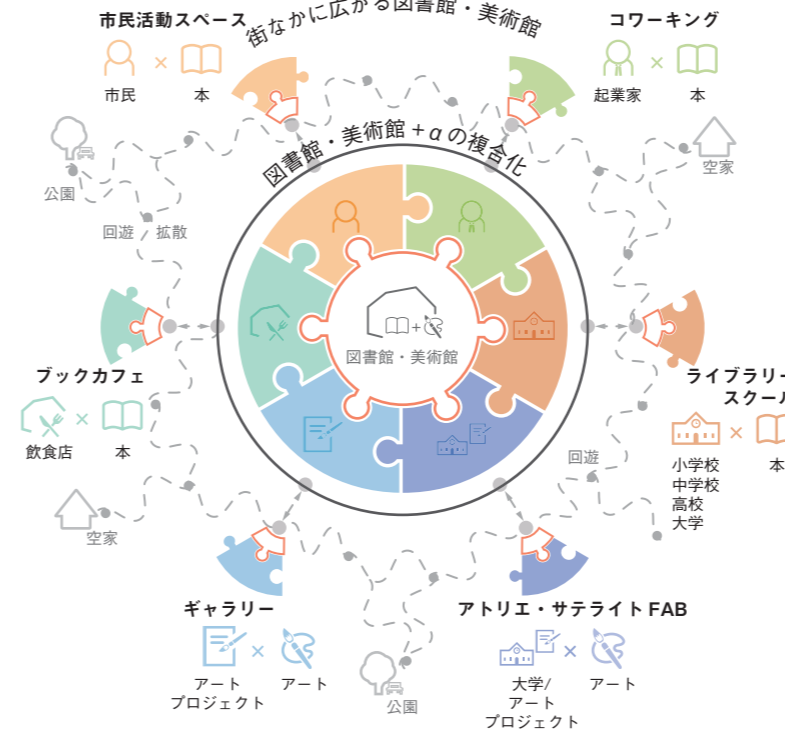
- ・まちにいろんなものが点在しているのが別府らしさである。
- ・民間の美術館、図書館と横軸で繋がっていく全体の仕組みをつくるのが重要である。
- ・純粋に本を読むという文化を醸成しなければならない。

## 2 オープン・プラットフォーム構想

別府の街の魅力をネットワーク的に強化し、市民が主体的に利用・運営に関わる、既存の図書館等にはない新たなコンセプトとスキームを事業方針とする構想。

図書館等のハブ（施設の中心や核となる部分）を整備すると共に、街なかとの連携、市民参加のスキームを構築していくことで、ハードとソフト両軸での賑わいづくり、公民連携による魅力創造が可能となる。

中核となる図書館等は、民間施設の+aの機能と複合化し、図書館等に来る動機や環境を創生する。



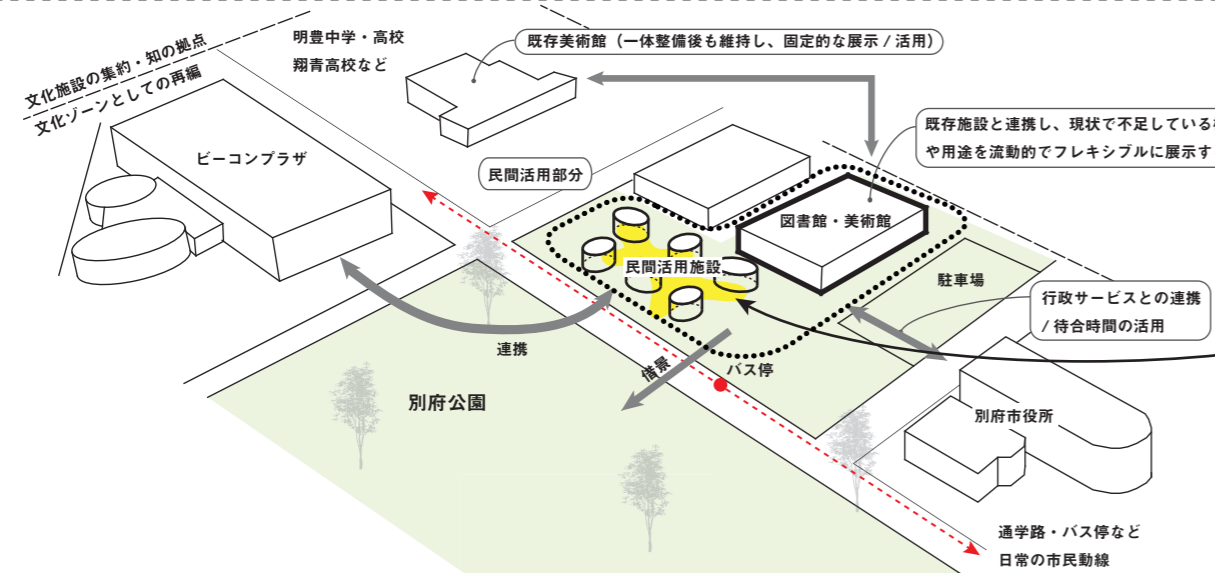
## 3 一体的に整備する施設の基本方針

- 1 市民が関心を持ち、**市民のニーズに対応できる新しい公共空間**をつくる。
- 2 **多層な人々が多様な形で集まりやすい動機・環境**をつくる。(市民、市民団体、企業、学生、観光客等)
- 3 ここでの活動を起点に、**街なか賑わいとまちの魅力**を広げていく。
- 4 市民を巻き込み、主体的に利用・運営にかかわる**自立的なプロセスとシステム**をつくる。
- 5 「民間活力」を導入し、**新たな魅力創造を生む拠点**にする。
- 6 公共施設の**建設費や維持費を軽減する事業スキーム**をつくる。

### 4 新たな施設の定義

単一的な機能や役割として存在するのではなく、**既存の機能や役割に加え、多様性が凝縮され人と人、情報と情報が混ざり合う場所**である。

## 5 グランドデザイン概念図



### 知の活用・創造

#### 一体的整備する施設の機能

- ・図書、芸術、郷土資料等の収集と資料を活用した、より高度な調査・研究支援及び発信
- ・郷土資料の収集と発信、温泉資源の調査・研究及び発信
- ・「アクティブ・ラーニング」の拠点(学校の枠を超えた対話的で深い学びの機会提供)
- ・人と人をつなぐ(架橋する)人材(「ブリッジコミュニケーター」)の育成 など

#### ハードの工夫

- ・新たな施設は、機能ごとに空間を分断せず、ゆるやかに繋げる。
- ・周囲の自然環境との調和や借景を得る。
- ・周辺の文化施設や学校、市役所などの既存の公共施設との連携を図る。

それぞれの機能/空間は分断せず、  
アメーバ状のサードプレイスを介して  
ゆるやかに繋がっている(両側)



### 地域の魅力・事業創造

#### 民間機能との連携

- ・預かり、一時保育等の子育て支援
- ・リタイア世代の知識、ノウハウ伝承の機会創出
- ・創造性を育む教育
- ・学生、留学生の就業支援
- ・インバウンド、旅行者への地域魅力の発信
- ・起業家、新規ビジネス育成
- ・ソーシャルビジネス※1創出
- ・ベンチャーキャピタル※2、資金調達支援
- ・産学、大学連携
- ・民間事業者による運営/収益確保 など

## 6 建設予定地

別府公園文化ゾーン

## 7 建設規模/事業費の大まかな目安

適正規模 : 約5,000㎡程度

想定事業費: 約30億円(建設費+備品費)

※規模、事業費は目安であり、基本計画で決定する規模・機能に応じて変更する可能性がある。

## 8 イメージ図



外観イメージ。既存樹木を避けながら建物が建ち、ゆるやかに屋内外が繋がりが、公園内にもアクティビティが広がっている。



内部イメージ。それぞれの機能/空間は分断せず、中間領域を介して各機能(読書スペース、物販スペース、カフェ、キッズスペースなど)がゆるやかに繋がる一体的な空間。



夜は学生の勉強スペースやビジネスマンのセミナーやプレゼンテーションの場、またカフェがバーに変わるなど、同一空間であっても時間によっても機能や使い方が変化する。

※1 ソーシャルビジネス: 高齢者や障害者の支援、貧困の削減、環境保全、地方活性化といった社会が抱える課題の解決をビジネスの手法で目指す取り組み。 ※2 ベンチャーキャピタル: ハイリターンを狙った投資を行う投資会社。